

多文化こども
エンパワメント
事業

若者支援事業

外国にルーツをもつ若者のための居場所づくりや表現活動をさまざまな角度から行っています。(文化庁委託事業) 15歳以上の外国にルーツをもつ若者が中心となり、国際交流センターはもちろん、地域で色々な活動に取り組んできました。



写真右上)「たまりば@寺子屋」と題した勉強会にて、奨学金についてのお話を聴いているところ。
写真上) 豊中まつりでは世界のビールや料理を出店。屋台の前でみんなでバシャリ! お疲れ様~



若者の「たまりば」 2015年度を振り返って

外国にルーツをもつ若者が中心となり、「おいしい料理をつくって皆で食べながら話し合う」活動です。何かを強制されることのない“ゆるい”空間で、一人ひとりのコミュニケーションを大切にしています。2015年度は、豊中まつりや遠足、パーティーなどを通じて一人では得られにくい経験をしたり、多様な講師の人を招いて社会問題についての勉強会(たまりば@寺子屋)をしたり、盛りだくさんの1年でした。

若者のたまりば 2016年度に向けて

コーディネーターより

2016年度からは曜日や時間帯が変更(土曜日 17時~)になりますが、今までの「たまりば」のよさを大切にしながら、「たまりば」という場について考え続けながら、ゆるゆるぼちぼちやっていきたいです。

とよなかエアライン

とよなかエアライン

2016年度に向けて

今年度の形のとよなかエアラインは一旦終わりますが、インターネット配信という表現の形、発信する媒体は残っているので、今後も外国にルーツを持つ若者が何か発信したいときに自由に使えればいいと思っています。

とよなかエアラインクルー
ボランティア同より



とよなかエアライン 2015年度を振り返って

毎月定期的に放送が出来、音楽も入って番組らしくなりました。ゲストが、まわりから期待されることなくその人が話したいことを自由に楽しみながら話していました。それを聞くリスナーとボランティアにとっても、ゲストとの出会いになりました。

ラジオ講座では、みんなで機材を操りラジオをインターネットで配信

多文化こども
エンパワメント
事業

若者支援事業 (つづき)

おしごとカフェ



おしごとカフェは毎回おかしや飲み物を囲み、アットホームな雰囲気です。

おしごとカフェ 2015年度を振り返って

おしごとカフェでは、外国にルーツを持つ若者が集まって、自分らしい働き方やライフスタイルについて、みなでおしゃべりしています。「カフェ」ということで、お茶やお菓子、空間づくりにもちょっとこだわっています。ゆったりした雰囲気の中で、それぞれの想いを聴かせてもらいながら「みんなで一緒に創っていく」のがおしごとカフェらしさだと感じています。

ボランティアより

おしごとカフェ 2016年度に向けて

参加者が挙げてくれた「おしごとカフェらしさ」を大切にしながら、個別具体的な人をイメージし、その人が「こんな風に素敵になっていったらいいな」を念頭に置いて取り組んでいきたいと思っています。



参加者は「働くこと」について自分の意見を言ったり、人の話を聞いて知識を深めます。

多文化ダンス教室「わたパチ」



コーディネーターより

多文化ダンス教室「わたパチ」 2015年度を振り返って

多文化ダンス教室「わたパチ」は、外国にルーツを持つ子どもたちを中心にしたダンスの活動です。ふだん地域のなかで出会う機会の少ない多様なルーツを持つ子どもたちが集い、互いに協力し支えあいながらダンスを学んできました。2015年度には、豊中まつりへの参加をはじめとして、地域のお祭りなどで積極的にダンスの発表を行ないました。2016年度からは活動のありかたが大きく変わりますが、「わたパチ」で大切にしてきたことを引き継いでダンスの活動を続けていきます。

写真左) 日頃の練習では鏡を見ながら全体の動きも確かめます。
写真右上) 子どもたちのおとな顔負けのダンスに会場は盛り上がりました。
写真右下) とよなかダンスフェスタにも出演。
写真下) ダンス若者クラス。豊中まつりで発表!



若者ダンスクラス

2016年度に向けて

2016年度から、ダンスの活動は、子どもサポート事業「学習支援サンプルレイス」の中で引き続き行うことになりました。大きな変化ですが、「わたパチ」が心がけてきた、子どもが主体となる活動づくりを最大限に活かして、新しいダンスの活動を作っていきたいと思っています。

多文化こども
エンパワメント
事業

若者支援事業 (つづき)

てーげー大学



写真左) てーげー大学では、毎回講師が「好きだけど普段あまり共有しないこと」を発表。写真は「プログレ逃避論」
写真右) おしゃれをテーマにした回

てーげー大学 2015年度を振り返って

外国にルーツをもつ若者が中心となって、映画をみたり、話をしたりしてアイデンティティや表現について考えています。何かしんどいけど「何か」が分からない、どうにかしたいけど「どうにか」が分からない。そんな迷っているあなたは、迷わずてーげー大学へ！2015年度、てーげー大学 講座をラインナップ！

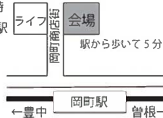
- ①現代女子評論「マウンティングから社会を考える」
 - ②「食べて、読んで、オシャレして」
 - ③「現実逃避論 PART I ブラジル編」
 - ④「アナログ情緒概論」
 - ⑤「私が居たフランスお話しします」
 - ⑥「現実逃避概論 PART II トロント編」
 - ⑦「プログレ概論」
- (「てーげー」とは沖縄のうちなーぐちで“ 適当 ”の意)

2016年度に向けて

ふだんあらたまって話さないようなこと、大切にしていること、悩んでいること、試してみたいネタなど、てーげー大学で話してみませんか？「やってみたい」と思う話題提供者を大募集します。ふだん話さないようなことを話して、みんなと共有、対話します。話したあと、うれしくなったり、話を聴いて、ほっこりしたり… そんな場をつくっていきます。

若者主催イベント「庶民派室内フェスティバル Sho-Ming-Ha!」の開催(3/6)

日時：3月6日(日) part1 13～16時・part2(高校生以上) 17～20時
会場：ピアサロン(桜塚ショッピングセンター2階) 最寄駅：阪急岡町駅



写真右上) 会場は入り口近くまで人があふれて大盛況！
写真右下) グランドファイナルでは参加者全員でマカレナを踊りました！
写真左) ラジオの公開録音ではMCがゲストを招き、軽快なトークを展開。



多文化子ども
エンパワメント
事業

とよなか子どもにほんご教室

日本語学習が必要な子どものための日本語教室（月曜日・木曜日 15:00~18:00、土曜日 14:30~17:30）
（豊中市教育委員会、日本語指導者グループ「とよなかJSL」、とよなか国際交流協会による協働事業として実施）



とよなかJSLより

2015年度を振り返って

外国人を前にして、言いたいことがあるのに言えない、何を言っているかよくわからなくて、もどかしい思いをしたことはありませんか。親と一緒に日本にやってきた子どもたちは、周りがそんな外国人ばかりの中に、いきなり入って来るのです。私たちは、そのような子どもたちが、少しでも早く、友達関係や勉強が充分にできるように、日本語を教えています。現在、豊中のいろいろな小中学校から、いろいろなレベルの子どもたちが集まって、日本語の勉強をしています。

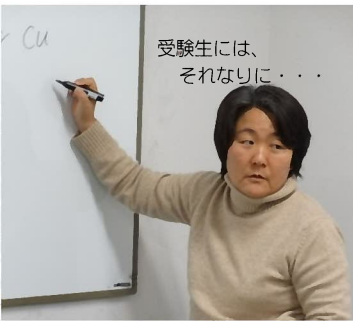


明るく！笑顔で・・・

とよなかJSLより

2016年度に向けて

「来年度は、高校受験をむかえる子どもがたくさんいます。もちろん、全員合格が目標で、高校生になっても、一人で勉強していける日本語能力を目指します。小学生たちも、みんなそれぞれの学校で活躍できるように、頑張ります。」
「本事業の効果的・効率的な運営ができればと思います。」



受験生には、それなりに・・・



低学年には、優しく、工夫して・・・



一部屋を区切って、いろいろなレベルで勉強しています。

豊中市教育委員会
人権教育課より

多文化子ども
エンパワメント
事業

多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト （てーげー部）

外国にルーツを持つ若者や子どもたちがつながる場づくりや、メディアをつかった社会発信、さまざまな人達との対話をしています。（「てーげー」とは沖縄のうちなーぐちで”適当”の意）

2015年度を振り返って

てーげー部では、外国にルーツをもつ子ども・若いひとたちを中心に、文化の多様性をテーマとして、映像をはじめとした表現活動をおこなっています。今年度は外国にルーツをもつ若者と「沖縄」をめぐる映像の撮影・編集を重ね、DVD『ぼくと沖縄と みんな』を完成させることができました。また制作した作品を介して、同じような背景を持つ多くのひとたちとのつながりづくりもしています。

2016年度に向けて

次回作に向けて、新しい表現のかたちを探っていきます。またできた作品の上映などを通して、より多くの人たちとの交流、つながりづくりの機会をつくっていききたいと思います。



ぼくと
沖縄と
みんな

ぼくと沖縄と みんな
Dear My Past, Dear My Future



写真右上) 新作DVD「ぼくと沖縄と みんな」
写真右下) 多文化フェスティバルで新作DVDの披露
写真左) とよなか国際交流フェスタで販売するちんすこうの仕込みの様子



学校とつなが
ってつくる豊か
な未来事業

小学校外国語体験活動事業

豊中市のすべての小学校の3年生～6年生のクラスに、地域に暮らす外国人ボランティアを派遣して、ルーツのある国の文化や言葉を紹介します。豊中市教育委員会の委託事業。



2015年度を振り返って

地域在住の外国人ボランティアが豊中市立の全小学校で自国の文化を紹介し、子どもたちに多文化に触れる機会を提供しています。また外国人ボランティアや外国にルーツを持つ子どもたちにとって、新たな出会いがそれぞれのエンパワメントにつながるような事業を目指しています。将来を担う子どもたちにとって、この事業での体験が「共生するチカラ」を育てる一助になるよう、試行錯誤しながらも協会関係者も頑張っています。

2016年度に向けて

当事業は2015年度で10年目を迎えました。今後も具体的な出会いや体験が子どもたちや外国人ボランティアにとって充実したものになるよう、連携を取りながら進めてゆきたいと考えています。

こども
国事
国際
事業

平和と共存のための～おまつり地球一周クラブ

小・中学生のための国際理解プログラム。地域に住む外国人を講師に迎えて交流しながら、様々な国、地域について学びます。月1回程度実施。



ペルーのクリスマスの回ではお料理も体験!



韓国・朝鮮の文化を学ぶ「チョアチョアハングル」は年5回開催

2015年度を振り返って

地域在住の外国人が講師となって、自国の文化（遊び、料理、ゲーム等）を紹介し、子どもたち（小中学生対象）が体験する国際理解プログラムを実施しています。その他「実験企画」や「クリスマス企画」等も開催し、大変好評でした。チョアチョアハングルは年5回の活動を行いました。少ない活動回数ではありますが、その分毎回充実した内容の講座になっています。今年度は、「韓国式のあいさつ・民族衣装を着てみよう」「韓国スイーツを作ろう」「コリアタウンへ行こう」「楽器・テコンドー体験」「市場ごっこ」という体験型中心の盛りだくさんの内容でした。韓国からの留学生を講師に招き、普段ふれることが少ないお隣の国、韓国・朝鮮のことばや文化を知り、和気あいあいとした雰囲気ですべて楽しい時間を過ごしています。

2016年度に向けて

毎回楽しみに来てくださっている子どもたちのためにも、更に定期的な開催を目指したいです。また、今後も様々な国について楽しく体験しながら学べるような企画や、センター外での活動の企画も検討していきたいです。チョアチョアハングルは「おまつり地球一周クラブ」の韓国編として装いも新たに登場します。調理実習や楽器演奏などの楽しい活動の中で、見て・食べて・さわって、全身で韓国・朝鮮の文化を感じてもらいたいと思っています。今後もみんなで楽しい地球一周をめざします。



一日法律・労働相談会のようす。(公財)大阪府国際交流財団との共催。大阪府行政書士会豊能支部や NPO 法人チャームとの共催での一日専門相談会も実施しました。



中国人女性コミュニティの交流会。ママたちがたくさん集って、にぎやかです。



協会の日本語ボランティア有志で結成された「日本語支援グループ・むすびめ」との共催で日本語能力試験を受験する人のための個別サポートを実施して、就労やキャリアアップをめざす方をサポートしています。



多言語スタッフは全員女性です。



外国人女性向けセミナー「もっと幸せになるための夫婦間コミュニケーション講座」&無料健康相談会

2016年度に向けて

- ・外国人相談の重要性を日本社会にアピールしたい。
- ・多言語ニュースターを刷新し、外国人の目に留まりやすい情報を発信したいです。
- ・各国領事館との関係づくり。
- ・発信、アドボケイト活動（メディアへの発信、提言活動など）に取り組みます。

【相談サービス事業における対応について】

(1) ケース・ワークと他機関とのネットワーク(連携)

相談者の状況や相談内容が、諸制度を利用して問題の解決をはかる必要がある場合、ケース・ワークを行う。豊中市在住の相談者について、相談者が他機関に関わっている場合、あるいは問題対応に他機関との連携が必要な場合は、関係機関で情報を共有したり協力するなど、より適切に対応できるようにする。ケース・ワークが必要だが、相談者が遠方に住んでいたり、当協会が直接の関係機関として関与しえない場合などは、相談者が住む地域の援助機関と連携をとる。その地域で多言語の援助がない場合は、スタッフが相談者に対し、彼/彼女の状況を説明したり、相談者の希望や考えを援助機関に伝えるなど、仲介的役割を担う。他機関では多文化対応が不十分な場合があるため、相談者の状況についてスタッフが機関に説明し、適切な対応を依頼する。また相談者は、どのような支援が受けられるか十分理解できないことが多いため、スタッフが相談者の母語で説明し、相談者の安心や納得を促す。その地域で多言語対応が可能な場合でも、相談者がスタッフへの相談を望む場合は、相談者の不安を支え、相談者が適切な支援を受けられるよう支援する。

(2) 心理カウンセリング

相談者の悩みや問題について、相談者自身の内面に焦点を当てる必要がある場合は、心理カウンセリングを行う。相談者が自分の内面に目が向けられるよう、受容・共感・承認的応答を行い、自分の気持ちや考えに気づき、自分なりの決定や選択ができるよう支援する。

(3) 情報提供等

日常生活における情報や、行政手続等に関する情報など、相談者が法・制度や地域情報等を知らなかったり、理解していない場合は、情報提供する。

例) 公営住宅の申込み、交通事故の対応、病院の情報、健康診断の結果について、確定申告、求職時の書類記入等

(4) 安心して集えるコミュニティづくり

センターでの他事業を利用する来館者に対し、同国・母語の仲間と出迎え、安心できる環境を提供する。コミュニティ内で集う人が安心できるようなコミュニケーションに注意したり、ニーズに対応するなどを行った。必要であれば、随時個別相談として対応し、また逆に、相談に訪れた人に出会いの場へ促すなどを行った。

にほんご
交流活動
事業

もっともっとつかえるにほんご

日本語交流活動。毎回テーマを設定しての教室形式で実施しています。学習者にはそれぞれボランティアがサポートにはいり、個別対応もしています。毎週月曜日 10:00~12:00

2015年度を振り返って

ボランティアより

もっともっと日本語を話せるようになりたい、日本で仕事をしたい、資格を取りたいなどの確かな目標を持った外国人のための学習グループです。グループの大きな特徴である全体学習とマンツーマンサポート混在形式の中に、全員の前で発表体験を取り入れたスタイルがうまく定着し機能した一年だと感じています。以前に学習していた人が仕事の合間に元気な顔を見せてくれたり、また学習のなかで自分の国の文化や習慣などを一生懸命に説明してくれる姿を見ると、彼らにとっての大切な“居場所”を提供できていると実感できました。



学習風景「だれといつどこで」

2016年度に向けて

いろいろな目的や目標を持って教室に来る日本語学習者の期待に対応できるように、私達ボランティアもより一層のスキルアップに努めたいと思います。また学習者が日本での生活に何を必要としているかを一緒に考えて、自由に交流・情報交換ができる機会を増やしていきたいと考えています。



野外活動「花見と野点」



正月ゲーム「かるたとり」

にほんご
交流活動
事業

とよなかにはほんご・木ひる

日本語交流活動。レベル別、目的別のグループ活動です。同じ時間帯に多文化保育もあるので子連れでもOK!
毎週木曜日 13:30~15:30

ボランティアより

2015年度を振り返って

- ・学習者の日本語習得度や希望に合わせた学習体制と共に、交流に重点をおいたお茶の時間の設定は、学習者同士、担当以外のボランティアとも知り合える機会となり居場所づくりに役立っています。
- ・料理会では自国料理の披露・ポットラックパーティ、お花見などで学習者が話し楽しむ機会になっています。
- ・ネパールの震災の義援金を集めました。



写真上) 学習風景：楽しい授業の始まりです。今日のテーマは何だろうとワクワクしてきます。みんなやる気いっぱいです。

写真左下) 料理会：学習者の出身国の手料理がずらり。お抹茶を自分で点でて飲みたい人も続出の料理会でした。写真右下) お出掛け：大阪城西の丸にてお弁当。満開の桜にカシャカシャとカメラをむける外国人参加者。

2016年度に向けて

- ・学習者の国やその他の国との交流になるイベントができるといいなと思います。
- ・日本語ボランティア活動を通してもっともっと平和な地域づくりに貢献したいと思います。

